

丹後ちりめん創業 300 年事業 ブランドロゴが完成しました ～ 日本を代表するクリエイター 北川 一成氏が手がけた新しいロゴが完成 ～

平成30年7月26日
丹後ちりめん創業 300 年事業実行委員会

丹後織物工業組合、各市町、京都府等で構成する「丹後ちりめん創業 300 年事業実行委員会」では、この度、世界に向けて丹後織物の未来を切り開いていくメッセージを表現する新たなブランドロゴを発表しましたので、お知らせします。

なお、本日 15 時 30 分から、東京にてブランドロゴ発表会を開催しております。（7 月 19 日資料配付済です。）

○ ブランドロゴ概要

伝統技術を背景に、従来の「丹後ちりめん」のイメージの枠にとどまらず、国内外の名だたるブランドからも高い評価を受けている生地、商品が多くなっている中、それらを世界にアピールしていくにあたり使用（和装の世界での「丹後ちりめん」と共存。詳細については、別添資料をご覧ください。）



○ 制作者略歴

きたがわ いっせい

北川 一成氏（GRAPH代表取締役／ヘッドデザイナー）

- 1965 年 兵庫県加西市生まれ
- 1987 年 筑波大学卒業
- 1989 年 GRAPH（旧：北川紙器印刷株式会社）入社
- 2001 年 国際グラフィック連盟（世界約 250 名のトップデザイナーによって構成される世界最高峰のデザイン組織）の会員に選出
- 2004 年 フランス国立図書館に、“近年の印刷とデザインの優れた本”として多数の作品が永久保存決定



“捨てられない印刷物”を目指す技術の追求と、経営者とデザイナー双方の視点に立った“経営資源としてのデザインの在り方”の提案により、地域の中小企業から海外の著名高級ブランドまで多くのクライアントから支持

京都府舞鶴市の観光スポット「舞鶴赤レンガパーク」のロゴマークや、ロボットが運営する「変なホテル」のネーミング・ロゴマーク、兵庫県の地域ブランド「神戸シューズ」のブランディングなど、幅広く手がける

○ 今後の活用について

- ・ 認定された織物事業者によるロゴ使用（タグ等）
（将来的には、織物業以外での取組に発展するよう推進）
- ・ 地元住民を対象にした北川氏による講演会等を通じて、地域の機運を醸成

○ ブランドロゴに関する地元コメント

丹後ちりめん創業 300 年事業実行委員会

委員長 まつもと 松本 ひろゆき 博之（丹後織物工業組合理事長）

このたび、北川一成氏により、丹後織物の未来を切り開いていくメッセージをこめた、素晴らしい新ブランドロゴが出来上がったことを、大変嬉しく思います。

このロゴマークは、従来の和装のブランドである「丹後ちりめん」のイメージの枠を越えて、洋装などにも展開することを世界にアピールするのにふさわしいものであり、これも北川先生の豊富な御経験と、丹後地域および丹後織物に対する先生の深い御理解によるものと深く感謝申し上げます。

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に、丹後ちりめんが創業されて300年を迎えることから、「丹後ちりめん創業300年事業実行委員会」を昨年1月に立ち上げ、地域一体となった取り組みを進めているところです。

わたくしどもとしましては、このロゴマーク完成を機に、丹後織物のブランド力の更なる向上に尽力して参ります。

※ ロゴマークのデータや北川氏の写真、本日開催のブランドロゴ発表会の写真を希望される場合は、事務局までお問い合わせください。（発表会写真は後日になります。）

【問い合わせ先】

丹後ちりめん創業 300 年事業実行委員会事務局 千賀

電話：0772-68-5222 FAX：0772-68-5300

※ 本日は発表会のため、折り返しご連絡します。